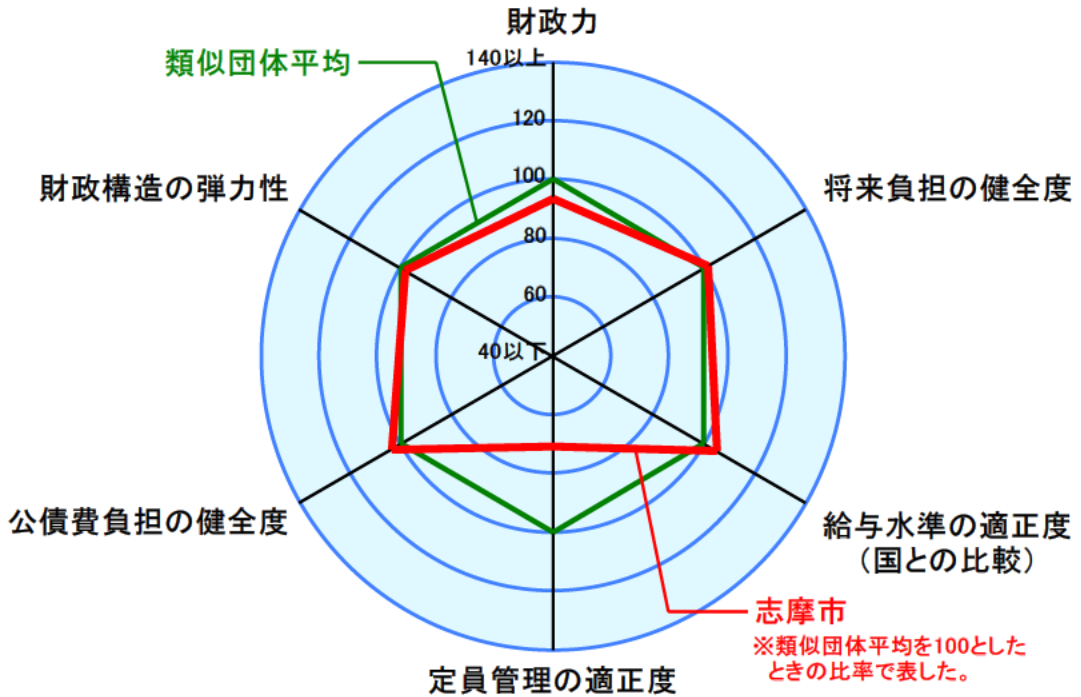
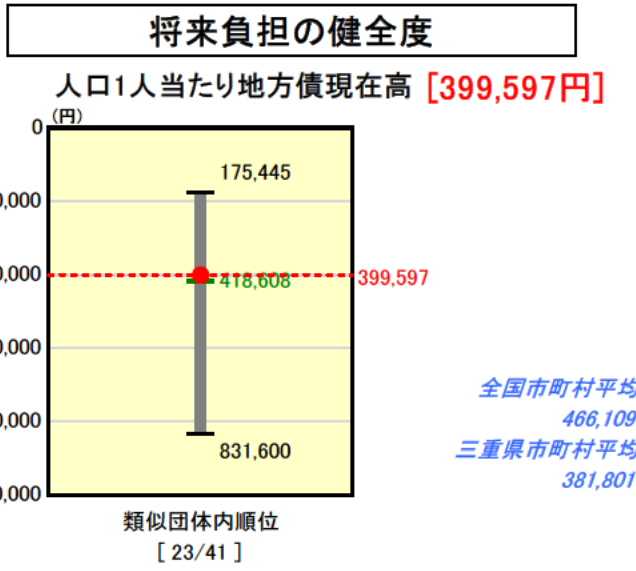
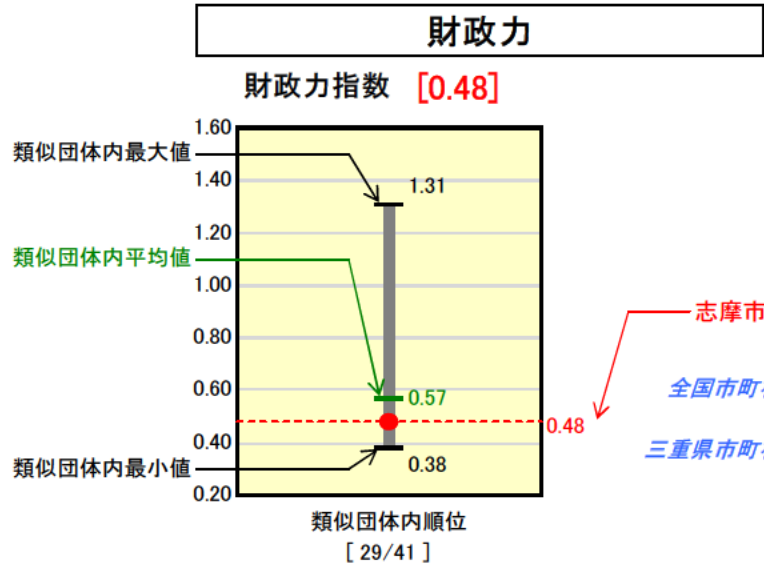


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 三重県 志摩市

|      |                        |
|------|------------------------|
| 人口   | 61,336人(H17.3.31現在)    |
| 面積   | 179.64 km <sup>2</sup> |
| 歳入総額 | 25,087,959千円           |
| 歳出総額 | 24,587,437千円           |
| 実質収支 | 482,522千円              |



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**：平成16年10月1日に合併し、志摩市となったが類似団体平均を下回っている。人口も減少傾向にあり、今後も厳しい状況は続くと考えられるが、志摩市として、歳出削減、定員管理・給与の適正化、地方税の徴収強化等の取組みを通じて、財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率**：近年、経常収支比率の上昇が続き、類似団体平均を上回っている。扶助費の増加や人件費に係る比率が、42.7%と高い水準となっているため、財政健全化に向けた行財政改革への取組みを通じて義務的経費等の削減に努める。

**起債制限比率**：過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っているが、今後予定される大型事業や合併特例債の活用による事業等についても、志摩市総合計画のもと適量・適切な事業実施により公債費負担の抑制や平準化を図っていく必要がある。

**人口1人当たり地方債残高**：現在のところ類似団体平均を若干下回っているが、今後も新規地方債の発行を適切な規模に抑制し、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

**ラスパイレス指数**：合併協議にもとづき、旧町の給与基準を維持したことにより、類似団体の平均を下回っている。今後も財政状況は非常に厳しいことから、国の人事院勧告等も考慮して、給与の適正化に努める。

**人口1,000人当たり職員数**：合併により旧町の職員がそのまま市の職員となったことから、類似団体の中では1,000人当たりの職員数が一番多くなっている。今後、業務の民間委託や施設の統廃合、事務事業の大幅な見直し等により、新地方行革指針(総務省)に掲げられている純減目標4.6%を上回る6%以上の数値目標を掲げ職員数の適正化を図る。

